

光先端医学教育研究センター 医用動物資源支援部

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	2 人	
その他（技術補佐員等）	8 人	
合計	12 人	

2 教員の異動状況

加藤 秀樹、准教授、H10.12.1～H19.3.31 助教授； H19.4.1～現職

高林 秀次、助教、H15.11.1～H19.3.31 助手； H19.4.1～現職

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	5.67	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Takabayashi S, Kato H : Noninvasive genotyping of common marmosets (*Callithrix Jacchus*) by fingernail PCR. *Primates*, 56, 235-240, 2015 (1.337)
2. Takabayashi S, Suzuki S, Kato H : Development of a modified artificial insemination technique combining penile vibration stimulation and the swim-up method in the common marmoset. *Theriogenology*, 83, 1304-1309, 2015 (1.798)

インパクトファクターの小計 [3.135]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Shimada S, Nunomura S, Mori S, Suemizu H, Itoh T, Takabayashi S, Okada Y, Yahata T, Shiina T, Kato H, Suzuki R, Tani K, Ando K, Yagita H, Habu S, Sasaki E, Kametani Y: Common marmoset CD117-positive hematopoietic cells possess 1 multipotency. *International Immunology*, 27, 567-577, 2015 (2.536)

インパクトファクターの小計 [2.536]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 加藤秀樹. 研究者と技術者が支える実験動物科学の柱を再考する：遺伝育種の立場から. 実験動物技術, 50 : 57-66, 2015 【実験動物学】 [0] .

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	1 件 (100 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構（AMED）による研究助成	0 件 (0 万円)

(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件	(0 万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

新学術領域研究 (研究領域提案型)、がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動、平成22～27年度、100 (万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	2 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	3 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 加藤秀樹. 遺伝育種学からみた過去と将来の実験動物、第 49 回日本実験動物技術者協会総会、2015 年 10 月、静岡

3) シンポジウム発表

1. 加藤秀樹. 研究者と技術者が支える実験動物科学の柱を再考する：遺伝育種の立場から、第 62 回日本実験動物学会総会、2015 年 5 月、京都
2. 高林秀次. コモンマーモセットのマイクロサテライト (SSR) マーカーの開発、第 5 回日本マーモセット研究会大会、2016 年 2 月、東京

4) 座長をした学会名

1. 第 62 回日本実験動物学会総会、2015 年 5 月、京都

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 日本実験動物技術者協会・常任理事
2. 日本実験動物技術者協会・企画調整部部長
3. 日本実験動物学会・評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	2 件
(3) 学内共同研究	0 件

(2) 国内共同研究

1. 加藤秀樹、実験動物のクローズドコロニーに関する遺伝学的研究（公益財団法人実験動物中央研究所 野村龍太）。
2. 加藤秀樹、コモンマーモセットの遺伝学的研究（財団法人実験動物中央研究所伊藤豊志雄、野村龍太）

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. コモンマーモセットの個体識別用 DNA 源の探索

コモンマーモセットは胎盤吻合により多胎児間で血液を共有する。そのため、血液 DNA による個体識別では、個体そのものの遺伝子型を反映していない。本研究では DNA 源として最適な組織を探索することを目的とした。その結果、爪から抽出した DNA が最適であることが明らかとなった。

2. 新規色素異常マウスの原因遺伝子の同定

B6 マウス系統から新規色素異常マウス（イエローマウス）を発見した。この色素異常の原因遺伝子は第 8 染色体上に位置していた。この色素異常マウスのゲノム DNA を用いて次世代シーケンサーによるエクソーム解析を行った結果、第 8 染色体上の 1 型メラノコルチン受容体 (*Mclr*) 遺伝子のエクソン部分すべてを含む 2.8Kb を欠失していた。*Mclr* はメラノサイトで α MSH の刺激を受けてユーメラニンを合成し、毛色を黒くする働きがあるレセプターである。我々が見つけたイエローマウスは *Mclr* を完全に欠くために、メラノサイトでユーメラニンが産生されず、フェオメラニンの合成が有意になっているために黄色の毛色を呈する可能性が考えられた。

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

15 新聞、雑誌等による報道